

ドラマに関するマーケティングデータ (簡易版)

朝日大学マーケティング研究所

調査概要

調査方法 電話インタビュー

調査期間 2003年10月30日(木)～11月1日(土)

調査対象 首都圏在住の女性。
高校生、大学生、社会人で、2003年秋クールドラマのうち
放送前に見たいドラマがあると回答した人からランダムに抽出

調査数 9名

NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5
大学生	会社員	アルバイト	会社員	大学生
19歳	30歳	21歳	31歳	19歳
未婚	未婚	未婚	未婚	未婚

NO.6	NO.7	NO.8	NO.9
大学生	会社員	高校生	会社員
21歳	21歳	17歳	32歳
未婚	未婚	未婚	既婚

調査項目

- ・放送前の情報源
- ・見たいドラマを決める要素
- ・見たいと思う出演者の要素

1. 放送前の情報源

ドラマの情報源は、番組宣伝CM、テレビ情報誌

放送前は、番組宣伝CMやテレビ情報誌で新しいドラマについて知ることが多い。他に、たまたま目にした電車内のポスター、初回前に放送される特別番組、ホームページなどが挙げられた。注目して見ているところは、出演者とあらすじについてである。

ドラマに詳しい友人から

自分よりもドラマに詳しい友人から「面白いよ」と勧められて、見てみようと思うこともある。

<具体的な発言事例>

ドラマの情報源は、番組宣伝CM、テレビ情報誌

ドラマに詳しい友人から

「(放送前に、新ドラマの情報はどこから?) テレビ雑誌ですかね。テレビガイド。(あとはテレビ)CMとかはあります。(他は)友達が面白そうだよって教えてくれて、テレビで面白ってやっていたら見ることもある。(それはどんな番組?) 朝のワイドショーとか王様のブランチとか。(朝のワイドショーって?) めざましテレビ。(主に注目しているのは?) あらすじが面白そうだったのと、あとは出演者。」

<NO.1 大学生・19歳・未婚>

「テレビ雑誌、テレビジョンとかで。(番組宣伝とかCMを見て、そのドラマを見たいと思うことはありますか?) ありますね。夕方頃とかに第1回目の番組宣伝とかやるじゃないですか。ああいうのとか見ますね。(特番みたいなの?) そうですね。(注目して見るのは?) 人と、内容。」

<NO.3 アルバイト・21歳・未婚>

「全部CMですね。(番組内での宣伝も)結構見ました。あとはテレビガイドとかの雑誌を読んで。友達は私よりももっとドラマ見ているんで、CMとか見ると教えてくれて。私が(CMを)見ていなくても、『これはこういう風になるから絶対に見たほうがいいよ。』って。」

<NO.5 大学生・19歳・未婚>

「(ドラマの出演者はどこで知ったの?) たぶんテレビの番組宣伝か何かで。深夜かなんかにやっていた番組の中の。共演者が出てきて、インタビューだったような。」

<NO.6 大学生・21歳・未婚>

「予告っていうか。(CM?) そうです。テレビジョンとかでもあったので。あとは会社の人とか、姉妹とか。」

<NO.7 会社員・21歳・未婚>

「前のドラマが終わった時に、次のドラマはこういうのをやるよっていうのが流れるので、それを見て。あとはネットとかでホームページをチェックして。(トリックは)友達が『今日からだよ』って(教えてくれた)。」

<NO.8 高校生・17歳・未婚>

「(トリックは電車の中の)ポスターで見て。(日曜9時の次のドラマについては)CMでもやるし、制作発表とかでもやるし、新ドラマって朝のニュースの芸能なんかで見ます。(白い巨塔は)特集を、いくつかのドラマを集わせてみたい番組を見ました。あとはコンビニとかでたまたまテレビ雑誌とかを見た時って感じなので。(テレビ雑誌で注目したところは?) あらすじだったと思うんですけど。」

<NO.9 会社員・32歳・既婚>

「(ヤンキー母校に帰るは)テレビで本の原作の方についてワンコーナーでやっているのを見て、その後予告見て、『あの本のやつだ』って思って。」

<NO.9 会社員・32歳・既婚>

2. 「見たい」ドラマを決める要素

最大は好きな役者が出演していること

「見たい」ドラマを決める際、好きな役者が出演しているかどうか最大の決め手になる。ただし、録画してまで見ようという人は少数であるため、その時間に在宅していることが前提条件である。

好きな内容、放送時間枠のイメージ、脚本家

放送前の情報から、恋愛系、怖い系など、どのような内容かを判断して視聴するドラマを決めている。また、過去に視聴したドラマから、放送時間枠自体にどんなドラマが放送されているかというイメージを持っており、そのイメージによってその枠の視聴が左右されるケースもある。他には、以前面白かったドラマの脚本家だからなどの理由も挙げられた。

<具体的な発言事例>

最大は好きな役者が出演している

- 「(見たいと思ったのは?)女優ですかね。深田恭子さんが好きでよくドラマ見ているんですけど。」
- <NO.1 大学生・19歳・未婚>
「(ドラマを見たいと思うのは出演者によるところが一番大きい?)そうですね。」
- <NO.2 会社員・30歳・未婚>
「(見たい理由の中で一番大きいのはどこ?)面白そうかどうか。ストーリーですね。逆にあんまり出演者は気にしない感じ。(すごく好きな人であったら見るけど、他は内容がよければ?)見ますね。」
- <NO.3 アルバイト・21歳・未婚>
「(エ・アロールを見たいと思ったのは)は豊川さんが出るので。」
- <NO.4 会社員・31歳・未婚>
「末っ子長男姉三人は、岡田君が出ているので。(見たい理由は時間帯と岡田君どちらが大きい?)岡田君です。」
- <NO.5 大学生・19歳・未婚>
「主演の岡田君が見たいと思ったので。他は深津絵理で。人で見たいなって。ただ、時間が合えば見るぐらいで。」
- <NO.6 大学生・21歳・未婚>
「(あした天気になあれは)観月ありさが好きだったんで。(ストーリーよりも観月ありさが出ているっていうのが大きい?)そうですね。あとは、時間帯的なことでもあったんですけどね。」
- <NO.7 会社員・21歳・未婚>
「(ハコイルムスメ!)は深田恭子が好きなので。(恋文は)渡部篤朗が好きなので。(末っ子長男姉三人は)岡田君が。(見たいと思うのは出演者と時間帯はどっちが大きい?)誰が出るか。」
- <NO.8 高校生・17歳・未婚>
「(白い巨塔は)唐沢寿明さんが出ているじゃないですか。大好きなんですよ。その時点で絶対に見たいなって。」
- <NO.9 会社員・32歳・既婚>

好きな内容、放送時間枠のイメージ、脚本家

- 「脚本家の名前とか。宮藤さんや三谷さんだから見てみようかなって。白い巨塔は元々小説が好きで、これはキャスト全然興味なくて。小説がすごく名作っていうので見てみた。」
- <NO.2 会社員・30歳・未婚>
「トリックは前回作も見ていたんで、また見たいなって。(マンハッタンラブストーリーは)脚本の方が、木更津キャッツアイとか全部見ていたんで見たいなって。(ヤンキー母校へ帰るは)話的に興味がわいたんで。実話が結構好きなので。」
- <NO.3 アルバイト・21歳・未婚>
「番宣を見て、面白そうって。怖いのが好きで。どっちかというとき心霊系がしらって。トリックは前見ていたので。」
- <NO.4 会社員・31歳・未婚>
「題名とかCMから怖そうだなって。恋文は、ラブストーリー結構好きなので見てみたいなって思いました。末っ子長男姉三人は、日曜日の9時で、その時間帯家にいてテレビ見ているので。トリックは友達と難しそうだけど面白そうだよなって話して。見なくなるドラマを決めるのは)出演者とあらずじやないですかね。あとは自分が好きなジャンル。あまりアクション系は見たいと思わないし、怖いのとラブストーリーはチェックしなくちゃなって。」
- <NO.5 大学生・19歳・未婚>
「日曜日の9時っていうと、ホームドラマな感じなのかなって。でも、時間が合えば見るぐらいで。」
- <NO.6 大学生・21歳・未婚>
「(あした天気になあれは)時間帯的なことでもあったんですけどね。(末っ子長男姉三人は)日曜日っていうのも結構大きいんですけど。(トリックは)今までに見たことがあって。」
- <NO.7 会社員・21歳・未婚>
「月9はやっぱり面白いので、毎回チェックしているんで。(ハコイルムスメ!)はあと恋愛ものだから。(末っ子長男姉三人は)日曜の9時からのTBSで、今まで結構面白いのやっていて、それで今回もそれ系かなって。(面白そうだと思うドラマは?)自分に関係あるかどうか。恋愛とか。ちょっと年齢層が上の人向きのは見ない。」
- <NO.8 高校生・17歳・未婚>
「(トリックは)ポスターが面白かったの。何なんだろうって思って。(ヤンキー母校へ帰るは)出演者より、テーマが面白そうだなって思って。(末っ子長男姉三人は)日曜の9時からの枠が昔から好きなドラマが多かったので、次は何をやるんだろうって思っている。あの時間帯は絶対面白いだろうっていう先入観があって。あんまり恋愛しているのは見たくない。その人個人を深く掘り下げちゃうのは見たくない。重いっていう感じがするの。」
- <NO.9 会社員・32歳・既婚>

3.好きな役者

演技が上手い、自分のタイプ

演技が上手い

「役と違和感がない（役者が役に入り込んでいる）」、「共感できる」、「感情移入できる」役者は演技が上手いと表現される。ただし、「自分の年代に合っている」ことが前提である。

自分のタイプ

容姿が自分好みでかっこいい、かわいい役者が好き。また、以前に演じた役柄が自分の好みだったことで、その役者自身が好きになることもある。

<具体的な発言事例>

演技が上手い、自分のタイプ

「(深田恭子がいいなと思ったのは?)演技が上手い。(演技が上手いってというのは?)自分がドラマの中に入り込めるっていうか。(演技が上手くても年代が上だったら?)やっぱり結構(年代が)上だったらあんまり入り込めないかな。あと、ファッションとかもチェックして。役柄(の影響)は特にない。(自分と年代が合うから好きっていうのはある?)それもありますね。」

<NO.1 大学生・19歳・未婚>

「(渡部篤朗のイメージは?)かっこいい。で、大人の男性。演技が上手い。役に入り込んでいるっていうか、こっちまで入っちゃいそう。憧れ。(身近に感じない方が憧れる?)そうですね。遠い存在じゃないですけど。(演技が上手くて好きという人はいる?)菅野美穂さんと広末涼子さん。(演技の他に好きな理由は?)どっちかという憧れの。(こういう人になってみたいという感じ?)そうではなくて、逆に、自分とタイプが違うから憧れる。」

<NO.3 アルバイト・21歳・未婚>

「(豊川さんのどういうところが好きですか?)手が大きいのが好き。私、背が大きくて、手が大きい人が好きなので、そういうタイプだと思うんで。(自分にとってどういう存在ですか?)アイドルなんですかね。(憧れですか?)そうですね。」

<NO.4 会社員・31歳・未婚>

「岡田君自体好きなんですけど、出ているバラエティとか見ているし、演技も結構上手いから面白そうだなって。(演技が上手いってというのは違和感がないということ?)そうですね。泣けるところはちゃんと感情が伝わってくる。(入り込める感じ?)そうですね。」

<NO.5 大学生・19歳・未婚>

「(岡田君のイメージは)控えめな感じ。(ドラマを見てイメージが変わったということは?)ないですね。」

<NO.6 大学生・21歳・未婚>

「(観月ありさが出ているドラマのイメージは)結構くだらないっていうかそれがかえって面白っていうか。今回のドラマはナースのお仕事系かと思って。(親しみが持てる感じ?)そうですね。」

<NO.7 会社員・21歳・未婚>

「(渡部篤朗は)ドラマしか見ていないんで、実際どんな感じかは分からないんで、彼氏にしたいとかはないんですけど。しゃべり方が特徴があって、ホスト役やっていた時はそれが合っていて。」

<NO.8 高校生・17歳・未婚>

「(深田恭子はどんなところが好き?)かわいい。役柄がいつもちょっとかわいそうなところがあるので、ちょっと共感じゃないですけど、泣ける感じがいい。(ファッションとかも)見ますね。」

<NO.8 高校生・17歳・未婚>

「(矢田さんのイメージは?)清楚でかわいくって感じですかね。奇抜な感じが少ないので、身近な感じでいいかなって。実際の年齢は離れていると思うんですけど、カジュアルな感じではお手本になるなって。」

<NO.9 会社員・32歳・既婚>

「(深津絵理は)彼女が出ているからっていうよりは、彼女が出るのは大体面白っていうのが私の中ではあるんですけど。(面白そうっていうのは?)やる役柄の中では、堅いよりも、コミカルな役の方が好きなんですけど。(イメージと役柄が一致していますか?)そうですね。でも、前笑っていいともに出た時は、あまりコミカルな人じゃなくて、普通の人なんだなって感じがしました。演技上手いんだなって思います。」

<NO.9 会社員・32歳・既婚>

3.好きな役者

意外性を感じると、次も見てみたいという好奇心が湧く

役者に自分が抱いていたイメージと違う役柄を演じると、意外性を感じ、「違う役も見てみたい」という好奇心が湧く。

イメージの大きなズレ、飽きによって、視聴意欲は減衰する

最初は「こんな役柄もできるんだ」と新鮮に感じたことも、いつも同じタイプの役柄が続くと飽きてくる。

また、ドラマ以外のテレビ番組を見て、好感が持てなくなるケースもある。

<具体的な発言事例>

意外性を感じると、次も見てみたいという好奇心が湧く

「仲間由記恵さんも、きれいな女の子という印象しかなかったんですけど、トリックでちょっと変な役もできるんだって思って、もっと違う役も見てみたいなって。(自分のイメージと同じだと新鮮さがなくて嫌?)そうですね。びっくりさせてほしいって。」

<NO.2 会社員・30歳・未婚>

「(観月ありさは)結構くだらないっていうかそれがかえって面白いっていうか。今回はナースのお仕事系かと思って。(親しみが持てる感じ?)そうですね。(子供がいる役はどうですか?)ありえないなって。(でも見てみたい?)そうですね。」

<NO.7 会社員・21歳・未婚>

「(深津絵理は)イメージと役柄が一致していますか?)そうですね。でも、前笑っていいともに出た時は、あまりコミカルな人じゃなくて、普通の人なんだなっていう感じがしました。演技上手いんだなって思います。」

<NO.9 会社員・32歳・既婚>

イメージの大きなズレ、飽きによって、視聴意欲は減衰する

「(最近は見なくなったのは?)常盤貴子さん。途中で見たドラマがあんまり面白くなかった。で、なんかもういいかなくなっていうか。結構年齢も上になってきたので、ちょっと違うかなくなって。米倉涼子さんとか、ドラマに出てて、演技いいかなくなって思っていたんですけど、バラエティとか出てて、あんまりいい印象じゃなかった。親しみにくいかなくなっていう。話し方かな。」

<NO.1 大学生・19歳・未婚>

「菅野美穂さんのドラマが結構好きだったんですけど。しゃべっていても頭のいい方で、かわいい方じゃないですか。でも、ドラマに出ると怖い役とかもやっていたじゃないですか。演技の幅があるんだ。すごいなって思って見ていたんですけど。でも、最近はそのようなのが当たり前になっちゃっているんで、もう新鮮味がなくなっちゃったから、もういいやっていう。(自分が持っているイメージと違って嫌って思うことは?)昔なんですけど、鶴瓶さんが悪役のあったじゃないですか。あれで鶴瓶さん嫌いになりました。すごい嫌な人(の役)だったので。」

<NO.2 会社員・30歳・未婚>

「(渡部篤朗は)最初はクールっぽい役だったじゃないですか。でも、今はちょっと違うじゃないですか。だから、実は前の方が好きだったんですけど。(今は前ほどではない?)そうですね。あとは、深田恭子さんが昔は結構好きだったんですけど、最近あんまり好きじゃなくなっちゃって。ドラマじゃないテレビに出てて、なんかちょっと好きじゃなくなって。なんか売れてきて、なまいきってるところが出てて。(トーク番組の)ゲストで出てて、イメージと違った。しゃべり方がたもちょっとぶりっ子しているかなくなって。あんまり興味がなくなっちゃって。」

<NO.3 アルバイト・21歳・未婚>

「昔やっていたケイゾクの渡部さん。前すごく好きだったんですけど。ドラマに出ていたとき。最近なんか嫌だ。きっかけは、ワイドショーに取り上げられるような何かがあったとか、CMに出ているのが私にとってはあまりっていうイメージだったとか。」

<NO.4 会社員・31歳・未婚>

「キムタク。なんかそろそろ飽きたかな。結構ヒーローちっくだから。どれにしても大体そうですね。」

<NO.7 会社員・21歳・未婚>

「(渡部篤朗が出るドラマは)恋愛ものっていうイメージ。(コメディとかに出たら見ますか?)マンハッタンラブストーリーとかぐらいになっちゃうとなんか嫌だ。(深田恭子は)どんなところが好き?)かわいい。(働いている役やキャリアウーマンとかの役だったら見たいですか?)顔に合わないっていうか。(イメージとのギャップがあまりない方がいいですか?)そうですね。」

<NO.8 高校生・17歳・未婚>

「観月ありさはナースのお仕事のイメージが強くてそれが好きだったので、あそこまでコミカルじゃない役をやっちゃうと物足りない感じがするんだと思うんですよね。(ナースのお仕事のような役だったら見ますか?)うん。でも、ずっとそれでも面白いのからって思うから、ちょっと微妙。」

<NO.9 会社員・32歳・既婚>

5. ドラマの内容、放送時間枠イメージ

「自分が見るドラマは 系」と決めている

恋愛系、怖い系、ホームドラマ系など、そのドラマがどのような内容かをあらかじめ判断して、視聴するかどうかを決めている。比較的若い人（学生など）は、現実でも起こりそうな恋愛系のドラマを好んでいる。一方、30代は、恋愛系のドキドキするものより、頭を使わないで軽く見ることができるドラマを好む傾向がある。

過去のドラマで作られたイメージからその枠は見ようと思う

今まで見てきたドラマによって、「フジテレビの月9は面白い」、「TBS日曜9時はホームドラマ系で面白い」など、放送時間枠に対するイメージから視聴するかどうかを決めている。

また、テレビ局自体にもイメージがある。フジテレビやTBSは面白いドラマを放送するというイメージが強く、安心して（はずれなく）見られると感じている。一方、「面白くないのが多い」、「あまりドラマをやっていない」といったイメージを持っている局もある。

<具体的な発言事例>

「自分が見るドラマは 系」と決めている

「いつも恋愛ドラマを好きで見ています。（でも(ドラマは)現実とは結びつけない。ドラマはドラマっていうか。）」

<NO.1 大学生・19歳・未婚>

「ドラマに求めるのは、私は非日常的なものを求めて、現実逃避じゃないですけど、癒されたりとかするので。だから、(出演者が)自分の思っている役とは全くかけはなれている方が面白いと思いますね。あんまり恋愛ものは見たくないんですね。(現実)に近いものは見たくない。ライオン先生のように、普遍的なテーマの中に、ぶっとんでるっていうのが入っているようなのが好きかな。(ドラマに求めるのは恋愛のドキドキより軽く楽しめるもの?)そうですね。」

<NO.2 会社員・30歳・未婚>

「(実話の方が好きなのはどうして?)ドラマってどうしてもドラマかって思っちゃう部分があるじゃないですか。それがない分興味が沸く。(他にどんな話が好き?)ラブストーリーですね。(ラブストーリーだったら)結構1回は目を通しますね。(どんなラブストーリー?)ちょっと現実的な方が。」

<NO.3 アルバイト・21歳・未婚>

「(国仲涼子さんが好きということですが?)彼女だったら見ると思います。ただ、話が恋愛だけだったりすると微妙ですけど。恋愛ドラマは基本的には好きじゃないんですけども。(どんなストーリーだったら見たいと思いますか?)基本的にコメディが好きなので。登場人物に感情移入をしたりとかそういう見方はしないので。純粋に酒の見ながらリラックスできる。ドラマでまで頭使うの嫌なんで。見ているだけで楽しめるものが望ましいっていう。」

<NO.4 会社員・31歳・未婚>

「めんどくさそうなのは見ないので。(未っ子長男姉三人は)簡単に楽しめるドラマかなとは思いました。」

<NO.6 大学生・21歳・未婚>

「(面白そうだと思うドラマは?)自分に関係あるかどうか。恋愛とか。ちょっと年齢層が上の人向きは見ない。」

<NO.8 高校生・17歳・未婚>

過去のドラマで作られたイメージからその枠は見ようと思う

「いつも日曜日の番組って兄弟とか家族がメインみたいな感じじゃないですか。で、今回もそういうのが見たい。(日曜9時の時間帯はそういうイメージ?)そうですね。」

<NO.5 大学生・19歳・未婚>

「とりあえず4チャンネルは面白くないのが多いので見てなくて。あと、TBSとフジテレビぐらいしかドラマは見ないですね。(フジテレビは)ドラマの幅が幅広いので、安心じゃないですけど、面白いのにはいきつかなって。10チャンネルはおばさん系。12チャンネルはドラマやっているかどうか分からない。日本テレビは(CMを見て)話が飛んでいる感じで、面白くなさそうな感じ。中学生の時は内容が飛んでいた方が面白かったので見ていたんですけど、高校生になって見なくなった。(未っ子長男姉三人が日本テレビだったら?)見ないかもしれない。」

<NO.6 大学生・21歳・未婚>

「ドラマって大体TBSかフジテレビなんですけど。フジテレビは月9で、その他のドラマはあんまり面白いのがなかった。TBSは大体面白いから。4チャンネルはたまにドラマやるけど、たまにやるっていう感じで。(4チャンネルはドラマをやっているイメージはない?)ない。10チャンネルはトリック、それ以外は知らない。」

<NO.8 高校生・17歳・未婚>

「日曜の9時からの6チャンネルの枠が昔から好きなドラマが多かったんで、次は何をやるんだらうって思っているのと、出演者が深津絵理さんで面白くだらうって。あの時間帯は絶対面白いだらうっていう先入観があって。」

<NO.9 会社員・32歳・既婚>

20代、30代の女性は、番組宣伝やテレビ情報誌などから、放送前に「見ようと思う」ドラマを決めている。視聴するドラマを決める最も重要な要素は、ドラマによって作られた役者のイメージである。

視聴するドラマは、ドラマがきっかけで好きになった役者が出演しているかどうかで決めている。出演する役者の中に、容姿、あるいはドラマの中で演じた役柄が自分の好みのタイプだったという人がいれば、「見ようと思う」確率は高まる。ただし、一度演じた役柄がその役者のイメージを形成するため、ドラマ以外の場面で違う印象を受けると、好感が持たなくなってしまうこともある。また、一度抱いたイメージの役柄を何度か演じると、飽きがくる。

その他、放送時間枠やテレビ局に対するイメージによって視聴するドラマを選ぶこともある。

年齢によって見たいドラマの傾向が違うことも分かった。20代（特に学生）は、恋愛系など現実に起こりそうなドラマを好んでいる。一方、30代（特に会社員）は、コメディなど頭を使わずに軽く見れるドラマを好んでいる。

今後、テレビ局側は、視聴者が役者に対してどのようなイメージを抱いているかを把握した上で、放送前のCM、番組宣伝、テレビ情報誌での役者の打ち出し方を考えていく必要がある。また、20代向けならば恋愛の部分を、30代向けならばコメディの部分をというように、ターゲットの年齢によって、ドラマのどの部分を強くアピールしていくかを考えていくべきである。

マンスリーリサーチ

ドラマに関するマーケティングデータ

発行日 2003年12月30日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20
朝日丸の内ビル2F
TEL : 052-961-4576

お問い合わせ enquete@titan.ocn.ne.jp